

これからの求められる「まちづくり」は 安心して子育てができる・暮らし続けられる・自然災害に強い



2月5日熊本市民連総会で、奈良女子大学大学院教授の中山徹氏が記念講演を行われ、開発型自治体・熊本市の問題点を指摘されました。

「立地適正化計画」「公共施設総合管理計画」「中心部の大規模開発」がまちを壊していく、これからの「まちづくり」は、すべての施策に少子化・定住対策を位置づけ、人口減少を5%にとどめることが必要であると指摘。「安心して子育てができる」「暮らし続けられる」「自然災害に強い」まちづくりが求められていると述べられました。

まちを壊す「中心部の大規模開発」

リスクの大きい市街地再開発

- ① 事業が順調に進むか不透明で追加財政負担発生の危険。
 - ② MICE 運営が赤字になれば、行政による補てんが発生。
 - ③ 公共施設の内容・利用料等に市民の意見が反映されない。
 - ④ 限られた需要を再開発で吸収し、全体の需要が増えなければ、商店街等は衰退する。
- などの危険が再開発事業にはあることを指摘されました。

開発に財源を集中する問題点

- ① 社会保障の財源が削減され、医療福祉・教育等が後退する。
 - ② 経済対策が大型開発に依存し、中小企業対策が手薄に。
 - ③ 周辺部に必要な投資が行われず、周辺地域の居住が困難に。
 - ④ 中心部への集中は、防災的に脆弱な地域を作り出す危険。
 - ⑤ 市民参加・市政の民主的運営が後退する。
- という点を指摘されました。

「歩いて行けるところ」に日常生活圏を整備して

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、小学校区単位（1キロ圏内、人口5千～1万人）の生活圏に、日常的に生活を支える施設を整備する必要がある。（公共施設・学校・高齢者施設など）

ハコモノ中心のまちづくりでは、地域の担い手は育たない

これからのまちづくりは、地域の担い手を育てることが重要、まちづくりは「人づくり」。

ハコモノ中心のまちづくりでは、地域の担い手は育たない点も指摘されました。

弁護士による「無料法律相談」のご案内

毎月定例で無料の法律相談を行っています。どなたでもご利用できます。震災に関わる法律相談も含め、ぜひご利用ください。

「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

- 2月12日（火） 午後5時30分～7時30分
さくら法律事務所（京町本町1-22） TEL 090-8667-3148
- 2月14日（木） 午後1時～4時
菜の花法律事務所（南区江越1-17-12） TEL 322-7731
- 2月20日（水） 午後2時～4時
中央区生活相談所（大江5-15-20） TEL 375-2200
- 2月20日（水） 午後6時～8時
北区生活相談所（武蔵ヶ丘1-10-1） TEL 338-2001
- 2月15日（金） 午後1時30分～4時
山本のぶひろ渡鹿生活相談所（渡鹿5-19-7） TEL 362-5181
- 3月1日（金） 午後3時～5時
東区生活相談所（広木町7-23-2） TEL 328-2656

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか 山部ひろし

NO. 1131
2019年2月10日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



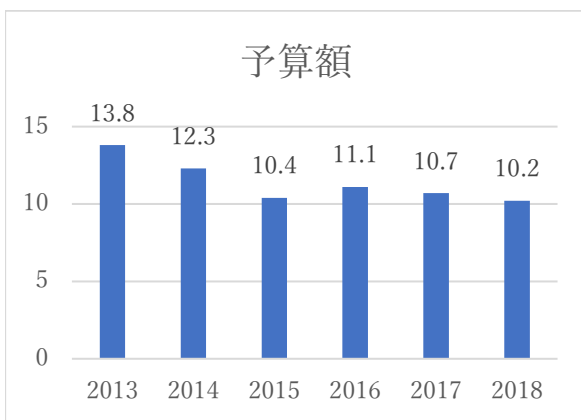


立春を過ぎ、暦の上では春になりました。でも、寒い日もあり、インフルエンザも流行しています。お体に気を付けてお過ごしください。

2 月議会は、2 月 18 日から開会です。みなさんの声をしっかり届けていきます。

予算を増やして、使いやすい公園に 5 年前と比べ 2 割以上も減っている公園予算

1 月の土木センター交渉で公園の改善が数カ所から出されたので調査したところ、5 年前と比べ予算が 20%以上減っていました。トイレの改修、遊具の更新、樹木の管理など、さまざまな声に応えられるよう、予算の増額が必要です。



(予算額は「億円」)

北千反畑公園のトイレ管理が改善されます

土木センター交渉で、北千反畑公園（中央区北千反畑町）の掃除・トイレトーパー設置・洋式化が要望されていました。

掃除の回数を増やし、トイレトーパーの予備を設置する、洋式化については「今後検

討する」との回答がありました。



市営団地の「ハトの糞害」への対応を 「出水団地」(中央区水前寺公園)の被害状況を調査

市営「出水団地」住民から、ハトの糞害に困っているとの相談があり、調査に行ってきました。ハトがすっかり住み着き、ベランダや手すりにはたくさんの糞が積もっていました。毎日掃除してもにおいがあります。1 軒が網などの対策をすると、他の家に行くので、団地全体の対策が必要です。市としての対応を求めています。



* 右は、ベランダの物置の上に積もる糞

【控室から】
国民健康保険料引き下げは急務
上野 みえこ

先日、「国民健康保険証がありません。保険料を払っていません。緊急入院しました。助けてください。」という連絡がありました。

詳しくお話を伺うと、事情があつてここ数年、国民健康保険がない状態で生活されていたことがわかりました。仕事はアルバイト。ところが、具合が悪くなり、しばらくは家で我慢をしていたが、とうとう救急車で緊急入院になったとのことでした。

保険料の負担が重い国民健康保険、非正規の仕事で所得が少なく、保険料の支払いを心配する人たちが無保険になってしまい、結果的には重篤になって入院という、国民健康保険の矛盾を象徴するような事例です。

国民健康保険は、いのちと健康に直結しています。高い保険料が払えず、必要な医療から日常遠ざかり、病気が悪化するような制度であつては、いけません。政令市で一番負担の重い熊本市の国民健康保険料引き下げは急務ですが、国全体としても、保険料負担を軽減するための抜本的な制度改善が必要です。国民皆保険制度としてふさわしい制度になるよう、頑張ります。

